

ベビーシッター情報

2007
November
Vol. 64

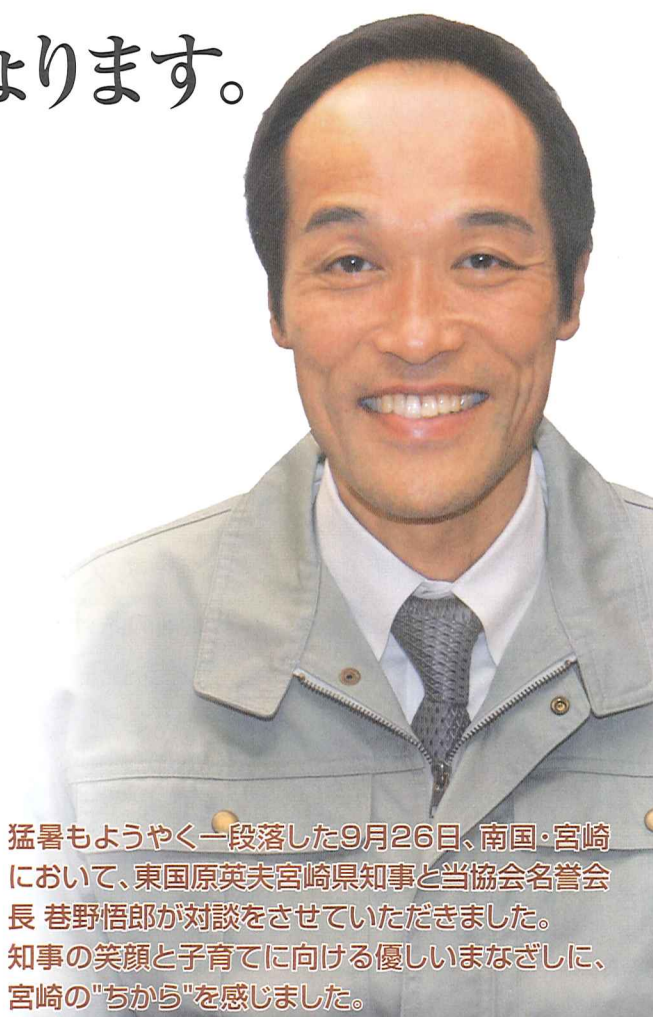


発行所 社団法人全国ベビーシッター協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
TEL:03-3797-5020 FAX:03-3797-5022
URL:http://www.netcircus.com/babysitter
発行人 網野武博
編集 広報編集委員会
発行年月日 2007年(平成19年)11月
会員交流事業・広報啓発事業・調査研究事業・研修事業・ベビーシッター育児支援事業・双生児家庭育児支援事業・資格認定制度事業等、これらの事業を通してベビーシッターは21世紀に貢献しています。

厚生労働省認可 社団法人 全国ベビーシッター協会
All-japan Babysitter Association.

子育て応援本部長として頑張っちよります。

(社)全国ベビーシッター協会名誉会長 巷野悟郎の 知事対談シリーズ 16



猛暑もようやく一段落した9月26日、南国・宮崎において、東国原英夫宮崎県知事と当協会名誉会長 巷野悟郎が対談をさせていただきました。知事のお笑顔と子育てに向ける優しいまなざしに、宮崎の"ちから"を感じました。

宮崎県 東国原英夫知事

昭和32年9月16日生まれ 昭和55年3月 専修大学経済学部卒業。テレビ、ラジオ等を中心とした過激なタレント業の傍ら、平成16年3月 早稲田大学第二文学部卒業後、政治経済学部入学、平成18年3月同学部退学後、平成19年1月 第52代宮崎県知事に就任

■宮崎県のベビーシッター
会長：本日は(社)全国ベビーシッター協会のご案内がたがた、東国原知事の子育てについてお話をうかがいに参りました。
知事：知識不足で申し訳ないですが、宮崎でもシッターさんは活動されているのでしょうか？
会長：宮崎に支店をおく(社)全国ベビーシッター協会の加盟会社があり、県立芸術劇場やホテルなどでお仕事をしております。
また、働く保護者のための「ベビーシッター育児支援事業」という国の補助事業があり、県内の数社の企業が福利厚生の一環として利用されています。先ほども県庁内に何台も観光バスが停まっていたのですが、最近では、県外からの観光客が増え、ホテル宿泊客からのベビーシッターの依頼も多くなってきたと聞いています。これも東国原知事のおかげですね(笑)。
知事：ありがとうございます。ところで、シッターさんには資格が必要なのですか？
会長：資格としては、当協会では「認定ベビーシッター」制度を導入しております。
ベビーシッターの質の向上を図るための研修制度として新任研修・現任研修を受講し、実務を経た後に資格認定試験があり、合格者に付与しています。保育士養成課程のある大学などで在宅保育に関する単位を履修した卒業生にも資格が与えられる指定校制度をも設けておりますので、宮崎県内の学校でもぜひ取り組んでいただきたいものです。

■私もシッターさんに子育てを...
知事：事故などのこともあり、保険や資格など基準がきちんとしていないと預ける側も安心して利用できませんね。極論ではありますが、子育てはシッターさん個人というより地域全体がシッターであるというのが理想ですが、特に都市部ではそういういきません。地域によっては近所の方に預かってもらうこともあって、シスター制度が必要なの状況だと思っております。
私2人の子どもがいますが、小さかった頃にはシッターさんのお世話になりました。短時間や泊まりなど色々ありますが、聞いていただいて大変助かりました。おかげさまで二人とも事故も無くすくすく育ち、大変感謝しております。当時からシッター制度がきちんとしてくれると良いと思っております。協会の先駆的活動には尊敬申し上げます。
会長：各ご家庭の要望に応じて柔軟に対処できる点ではベビーシッターが、番だと思えます。協会では自主基準の策定や保険制度などが完備しているんで、安心してご利用いただいているようです。



■子育ての楽しさと充実感
会長：もちろん子育ては大変ですが、その中に楽しさがあることをもって知って欲しいですね。スポーツもそうですが、苦しいの後は喜びがありますし、選手に声援を送るとがんばる力になるように、子育ての中のお母さんたちを応援していきたいと思っております。
知事：子育ては子どもも育つし、親も育ちます。私自身、子どもから大変多くのことを学ばせてもらったと思っております。あの達成感、楽しみのひとつのポイントかもしれません。スポーツも苦しいの後に達成感や爽快感、やり遂げた感があります。子育ての場合には、プラス子どもの笑顔がありますね。自分に向かって走っていくことも笑顔は最高の喜びです。成長していく姿...初めてパパママと言った、歩いた、走った、興味を持ったことを色々報告してくれる...この上ない喜びですね。
会長：ある保育士さんから聞いた話ですが、「保育所でもうすぐ離乳食を始めます」と報告したら、フランス人のお父さんが「次の土曜日に自分が会社を休んで自分がやりたい、初めて離乳食を食べる瞬間を見逃すのはもったいない」と、言ったそうです。その気持ち子が育ってなんですよ。
知事：私が一番感動したのは初めて「パパの絵」を描いてくれたときですね。頭の毛は3本しかなかったんですが(笑)、よく見ているなあ...あの感激は今でも鮮明に覚えています。子育ての人や、これからチャレンジする人たちにも、子育ての楽しさを伝えていく必要はありますね。
会長：今、日本中が注目している東国原知事から宮崎県はもちろん全国のお母さんたちにむかって「子育ては楽しい！」というのを発信してください。子どもが成長する過程の中でたくさんのお父さんや喜びを見つけられる、共感してくれる人が周りにいる。苦労もあるが、やっぱり子育ては楽しいですよ...というところを。
知事：行政の立場にいて、どうしても行政的な見方になってしまいます。出産や子育ての環境を整えて欲しいとか、救急医療を充実させて欲しいなどの要望に応えるため、「楽しみ」という視点を忘

東京大学小児科学教室 医学博士 小児科医
この 巷野 悟郎 名誉会長
昭和19年 東京大学医学部卒業
都立駒込病院小児科医長、同副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学教授を経て 現在 社団法人全国ベビーシッター協会名誉会長
こどもの城 小児保健クリニック院長
日本保育園保健協議会会長
〈主な著書〉
「子育て相談Q&A」共著(日本小児医事出版社)
「子育ては自然にかえれ」(原書房)
「赤ちゃんが書かせてくれた〜小児科医からママへの手紙」(赤ちゃんとママ社) など多数

■宮崎県の「子育て応援本部」
会長：宮崎県における子育て支援の取り組みについて、教えてくださいませんか。
知事：私が本部長として「子育て応援本部」を立ち上げました。行政は縦割りになりがちですが子育てはそうはいきません。福祉だけでも医療だけでも、まして教育だけでもだめです。地域も企業も行政も連携する必要があります。横断的な活動を行っていきたくて、全庁を挙げて取り組んでいくことにしています。子育てはもっとも重要視している政策のひとつなんです。
会長：宮崎県は出生率も高いようですね。
知事：現在、宮崎県の合計特殊出生率は1.55で全国2位です。1位は沖縄の1.74ですから、「子育て応援本部長」としては子育ての楽しさを知ってもらいながら、沖縄に追いつけ追いつけで、1位を目指して前に向きに頑張りたいと思います。
会長：宮崎県は今も注目を浴びており、お伺いしてみたいです。東国原知事には「子育ての楽しさ」を広く深く伝えていただくことを願って、今後の宮崎に大いに期待いたします。



知事の発信力の大きさに期待しています(名誉会長) 子育ての楽しさを発信していきますよ。(知事)